

チェック項目		はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースの関係で適切である	6	国の定めた基準以上の広さを確保し、スペースは児童の特性に応じて適切に配置・利用しております。	
	2	職員の配置数は適切である	6	法令基準を満たした配置であり、児童の支援に必要な専門性を有する資格者により支援をおこなっております。	
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。 また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	6	利用児童の特性に応じた視覚支援や発達に応じた環境設定に努め、定期的に見直しをおこなっております。また、構造的に段差は少なく、おおむねバリアフリーになっております。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。 また、児童たちの活動に合わせた空間となっている	6	清掃・換気・机や教材の消毒を毎日おこない、児童が活動しやすい環境を整え、衛生的で心地よく過ごすことができるよう配慮しております。	
	5	必要に応じて、児童が個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっている	6	個室はありませんが、必要に応じてパーテーションで区切るなどの環境設定をおこない、児童が安心して活動できる空間となっております。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	6	職員会議は全員参加するよう努め、課題の把握・目標の設定・改善策について話し合っております。	
	7	保護者様向け評価表を活用することによりアンケート調査を実施して保護者様の意向等を把握し、業務改善につなげている	6	アンケート実施後、保護者様からいただいたご意見は速やかに全職員で共有し、業務改善に努めております。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげている	6	職員が全員参加してのリフレクシオン会議を毎月おこなっており、反省とそれに対する改善策を提案しあっております。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	6	現時点では第三者評価は実施できておりません。	第三者による外部評価については、今後の課題として検討してまいります。
	10	職員の資質の向上を行うために、研修の機会や会社内で研修を開催する機会が確保している	6	関係機関からの研修案内を回覧して個人で講習を受講し、スキルアップを図っております。事業所内では本社配信の動画による社内研修に全職員が参加し、資質向上に努めております。	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されている	6	支援プログラムを作成し、令和7年度に向けた公表準備をしております。	支援プログラムを作成し、令和7年度に向けた公表準備をしております。
	12	個々の児童に対してアセスメントを適切に行い、児童と保護者様のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	6	アセスメントを適切におこない、児童の特性や状況、保護者様のご意向に基づいて支援計画を作成しております。	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、児童の支援に関わる職員が共通理解の下で、児童の最善の利益を考慮した検討が行われている	6	個別支援会議にて児童の最善の利益を考慮しながら意見交換をし、個別支援計画に反映させております。	
	14	児童発達支援計画が職員間共有され、計画に沿った支援が行われている	6	支援をおこなう際には、毎回児童発達支援計画を確認しております。	
	15	児童の適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認している	6	標準化されたアセスメントツールの使用や、日々の行動観察を通し、児童の状況の把握に努めております。	
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」「本人支援」「家族支援」「移行支援」及び「地域連携」「地域連携」のねらい及び児童発達支援計画を踏まえながら、児童の支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	6	ガイドラインを踏まえ具体的な支援内容が設定された支援計画を作成しており、各関係機関とも連携して情報共有に努めております。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っている	6	児童発達支援管理責任者や支援担当者の全員がチームとなって立案しております。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	6	基本的には習慣化と定着を目指した繰り返しの活動を実施し、同時に児童の発達に応じた個別の活動を考案し、さまざまな状況に合わせて活動プログラムを工夫しております。	
	19	児童の状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われている	6	児童の発達に合わせて、個別活動と集団活動を組み合わせた支援計画を作成し、支援をしております。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っている	6	毎日の職員間での打ち合わせにて役割分担や環境設定をおこなっており、担当児童のみならず、利用児童全員に対する情報提供や共通理解に努めております。	
関係機関や保護者様との連携	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	6	支援終了後には全員での打ち合わせが難しい場合もありますが、連絡ノートを活用しその日の活動で気づいた点などの情報共有をしております。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	6	日々の支援経過記録を徹底して検証し、改善につなげております。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っている	6	定期的なモニタリングによって児童の状況や課題などを確認し、保護者様のご意向を踏まえた支援計画の作成と見直しをおこなっております。	
	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、その児童の状況をよく理解した者が参画している	6	担当者会議に参画しているのは児童発達支援管理責任者であり、会議の内容は職員間共有しております。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えている	6	各関係機関と連携を図り、担当者会議を通して統一した支援がおこなわれるよう情報共有し、相談支援をおこなっております。	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。 また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校（幼稚園）等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	6	各関係機関との担当者会議を通して支援内容などの情報共有と相互理解を図り、支援の方針が統一されるよう心がけております。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校（小学部）との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	6	小学校などへの進学時には、保護者様のご意向を確認した上で進学先との情報共有に努めております。	
	28	地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っている	6		
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させている	6		
	30	（自立支援）協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	6		
保護者様への説明責任等	31	地域の他の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受けられる機会を設けている	6	地域の児童発達支援センターの訪問を受け、助言をいただいております。	
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他の児童と活動する機会がある	6	今年度は交流の機会はありませんでした。	今後は保護者様のご意向をうかがいながら、交流の機会を検討させていただきます。
	33	日頃から児童の状況を保護者様と伝え合い、児童の発達状況や課題について共通理解を持っている	6	送迎時や連絡帳にて活動の様子などをお伝えし、児童の発達状況や課題について共通理解に努めております。	
	34	家族の対応力や生活リズムの観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っている	6	送迎などの際に保護者様のお悩みなどをうかがい、必要な助言や効果的な支援方法をその都度伝えております。療育上必要で保護者様の協力が必要なものは提案させていただき、保護者様と一緒に児童の成長に向けて取り組んでおります。また、自治体主催のペアレント・トレーニングの情報が必要な保護者様に提供しております。	
	35	定期的に、保護者様からの子育てへの悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言や支援を行っている	6	連絡帳や送迎時にいただく保護者様からのご相談には、電話・面談などで助言や支援をおこなっております。	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、児童や保護者様の意思の尊重、児童の最善の利益の優先考慮の観点から踏まえて、児童や家族の意向を確認する機会を設けている	6	児童発達支援計画を作成する際には、事前に面談にて保護者様のご意向を確認しております。	
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者様から児童発達支援計画の同意を得ている	6	児童発達支援管理責任者が児童発達支援計画を示しながら分かりやすい言葉で説明し、計画への同意をいただいております。	
	38	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者様同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。 また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしている	6	今年度は開催しておりません。	今後は保護者様のご意向をうかがいながら、保護者会の開催を検討させていただきます。
	39	児童や保護者様からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、児童や保護者様に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	6	苦情の相談窓口を設け契約時に説明するとともに、日々の利用に関するご意見やご相談については迅速に対応できるよう配慮しております。	
	40	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を児童や保護者様に対して発信している	6	季節ごとのCOMPASSだよりや公式SNSにて活動報告をしており、毎月の事業所だよりでは療育の様子などを写真とともにお伝えしております。	
非常時等の対応	41	個人情報の取扱いに十分留意している	6	個人情報記載のある重要書類は施錠ができる書庫にて保管し、取り扱いには十分配慮しております。情報使用時には必ず保護者様に同意を得ております。	
	42	障がいの異なる児童や保護者様のための配慮をしている	6	それぞれの特性に応じて、口頭だけでなく書面を提示するなど、情報伝達に配慮しております。	
	43	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っている	6	今年度は実施しておりません。	今後は保護者様のご意向をうかがいながら、地域への働きかけを検討させていただきます。
	44	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	6	いつでも閲覧できるよう各種マニュアルを事業所内に掲示しており、定期的に訓練をおこなっております。	
	45	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的な避難、救出その他必要な訓練を行っている	6	業務継続計画（BCP）を策定し、定期的に必要訓練をおこなっております。	
	46	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の児童の状況を確認している	6	契約時とモニタリング時に確認をしております。	
	47	食費アレルギーのある児童について、医師の指示書に基づく対応がされている	6	水分補給の水や麦茶以外の飲食物の提供を丁寧に行いますが、契約時には保護者様から丁寧に聞き取りをおこない、職員間で情報共有に努めております。	
	48	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じた中で支援が行われている	6	安全計画に基づき、必要な研修や訓練、措置をおこない、十分な安全管理に努めております。	
	49	児童の安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づき取組内容について、家族等へ周知している	6	安全計画に基づいた訓練を実施し、避難場所・連絡先などをお知らせしております。	
	50	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討している	6	ヒヤリハットは速やかに事業所内で共有し、再発防止に向けた方策をたてております。	
51	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	6	虐待防止研修とセルフチェックを年に2回行い、適切な対応に努めております。		
52	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、児童や保護者様に事前に十分に説明し理解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	6	「COMPASSグループ」身体拘束等の適正化のための指針に基づき、児童や保護者様に事前に十分に説明し同意を得た上で、児童発達支援計画に記載しております。		

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体でおこなった自己評価です。